

一宮市立市民病院に通院中または過去に通院された患者さん  
またはご家族の方へ臨床研究にご協力をお願いいたします。

「頭部 Computed Tomography 検査における Organ Dose Modulation 機能の有効活用のための基礎検討」に関する臨床研究を実施しております。

このような研究は「人を対象とする生命化学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	頭部 Computed Tomography 検査における Organ Dose Modulation 機能の有効活用のための基礎検討
所属(診療科)	一宮市立市民病院 医療技術局 放射線技術室
研究責任者(職種)	大野 晃治 (診療放射線技師)
研究実施期間	臨床研究審査小委員会承認後 ~ 2025 年 3 月(予定)
研究の意義・目的	様々な条件下における頭部 CT において画質を損なわずに水晶体の被ばく低減機能を用いることが可能か検討する
対象となる患者さん	2022 年 1 月~2022 年 6 月の間において救急 CT 室で頭部単純 CT 検査を受けた患者
利用する情報	年齢、病歴、検査結果、CT 画像など既存のデータ
研究方法	救急外来からの患者、脳出血等の頭部病変のある患者、それらを外来や入院などに分けし頭部 CT 検査における撮影時の正面性を計測する。その計測結果より、脳実質の画質を損なわずに水晶体被ばく低減機能を活用できるか評価する。
問い合わせ先	窓口: 一宮市立市民病院 放射線技術室 大野晃治 電話番号: 0586-71-1911 (内線:2610)

既存の臨床記録(カルテ記録)、検査結果を研究・調査・集計しますので、新たな診療や検査、検体の採取の必要はありません。

カルテ情報の利用に同意をお願いいたします。

なお、利用する情報からは患者さんを直接特定できる個人情報を削除して研究します。

研究成果は今後医学の発展に役立つように学会発表や論文投稿等に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は使用しません。

この研究にご自身の診療記録等を使用することをご了解いただけない場合、またはご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。